

わたしたちの  
よしの  
再発見!

さくらもり

# 吉野の桜守 く私たちが桜を守りますく

間もなく見頃を迎える吉野山の桜。その桜を守るため、(公財)吉野山保勝会の桜守として、3人の青年が桜の植樹や手入れ、土壌の改善などを行い、日々奮闘しています。

## 吉野山保勝会の活動

公益財団法人吉野山保勝会は、前身となる「芳雲社」を明治13年に創設。大正2年に吉野山保勝会と名称が改められ、以来吉野山の桜の群落の保護育成や文化的景観の保護保全、国民の桜文化の維持醸成を期することを目的に活動を行っています。

## 桜守の仕事

桜が植えられている土地のうち、約30ヘクタールを3人で管理しています。苗木の植樹は、苗に負担の少ない11月から3月上旬の冬場に行われます。暖かくなると、木が「起きはじめ」るので、木が眠っている寒い時期に植えるとのこと。春以降は、下草刈りや、土壌改善のために炭を



この冬に植えた桜の木の計測の様子

育委員会文化財保存課などからアドバイスを得ながら、桜の抱える問題の解決に向けた実証実験を行っています。



伊藤将司さん

## 桜の危機

近年、吉野山の桜は立ち枯れなどの現象により衰退が危惧されていました。そこで、平成24年、吉野山保勝会や、地元吉野山自治会など、従来から桜に関わっている団体が集まり「吉野山桜の学校」を立ち上げ、桜の保護活動を行っています。オブザーバーとして、環境省や県教

育委員会文化財保存課などからアドバイスを得ながら、桜の抱える問題の解決に向けた実証実験を行っています。



奥西信介さん

その結果、キノコであるナラタケ属菌類の土壌感染が、衰退の大きな理由であることが分かりました。根や幹

に傷があれば菌に感染しやすくなります。「吉野山桜の学校」の樹木医さんたちによると、ナラタケ属菌への対応や肥料を与えるだけで解決できるものではなく、山が持つ自然の再生循環を取り戻すことが重要とのこと。感染が進んだ桜を救うことは難しく、次の世代の桜を育てるため、いきおいのある桜を母樹とし、その種を植え、苗を有害獣から守り、丁寧に植樹を行っています。また、「吉野山桜樹林管理手引書」を作成し、その作業指針に基づき、地元が一体となって、桜の保全活動を進める中、桜守には大きな期待が寄せられています。

## 吉野の桜を守るユング・プライド

伊藤さんは、地元吉野山出身。桜守と

なつて3年目の一番の古株ですが、この職に就いたときは、まったくの未経験からのスタートでした。この4月で3年目となる奥西さんは大和高田市在住。前職は造園業。その知識や経験を活かしたいと話します。山口さんは宇陀市在住の現在2年目。大学では農学部でしたが、桜とはまったく別の分野を研究していました。この生まれも育ちもそれぞれ違う3人を突き動かしているのが、世界遺産「吉野」の桜を守っているというプライドです。

約1300年前、修験道の開祖・役行者がヤマザクラの木に金峯山寺本尊蔵王権現を刻んだことから、御神木として崇められ、祈りを込めて植えられてきたと伝えられる



山口公佑さん

吉野山の桜。その桜を守ることを誇りに、3人の青年がこの現代を生きています。吉野山の桜の未来を想いながら。

◆(公財)吉野山保勝会 Tel(32) 1877

〒617-0000 総務課 広報広聴室

Tel(32) 9090

# 映画「北の桜守」主演吉永小百合さんが 3月12日吉野小学校を訪れました



桜暦について吉永さんに説明する6年生児童

映画「北の桜守」で、桜守である主人公を演じた俳優の吉永小百合さんが、桜の保全活動を「ふるさと教育」の一環として行っている吉野小学校を訪れ、児童が桜の苗木づくりで使う移植ゴテを寄贈しました。吉野小学校では、平成16年の吉野山小学校との合併後、吉野山小学校で昭和20年代から行われていた桜の保全活動を引き継いで行っています。さくらんぼ拾いから種の保存や植え付けなど、一年間の取り組みを記した「桜暦」のパネルを使って、6年生児童が学校での取り組みを吉永さんに説明しました。

それを受けて吉永さんは、「子どもの頃から地元の桜を守るという素晴らしい取り組みですね。私も桜守を演じて、その難しさや大切さが分かりました。大変だと思いますがこれからも続けてください」と話しました。児童たちは、吉永さんの激励の言葉に、ふるさとの桜を守る意識を新たにしました。

吉野小学校の小さな桜守たちも、ふるさとへの誇りを持って桜の保全に取り組み、後輩たちへ引き継いでくれることでしょう。



## 美 森林セラピー「吉野美林案内人」 案内人 新たに2人認定

3月4日、吉野美林案内人認定式が吉野町中央公民館でとり行われ、新たに第6期生2名の方々が「吉野美林案内人」として認定されました。

北岡町長より認定証を授与された後、先輩の案内人との交流会も開催されました。美林案内人としての活動は5月以降となる予定です。

当日は、同時に更新時期を迎えた第3期生2名も再認定され、引き続き活躍が期待されます。今後も多くのお客様に、癒しの体験をしていただくため、事業の充実を行っていきます。

◎森林セラピーに関するお問い合わせ先  
(一社)吉野ビジュアルビューロー

森林セラピー事務局

TEL (32) 2036



左から3期生の松原さん、6期生の佐々岡さんと古松さん

## 自 吉野町から3名の若者が入隊 衛隊入隊予定者 激励会

今春、自衛隊へ入隊する松本智也さん(吉野山)が町長室を訪れ、北岡町長に吉野町から3名が入隊することを報告しました。これに対して町長は「ふるさとや国を想う人材が吉野から出てくれたことをうれしく思う。様々なことをしっかり身につけてほしい。」と、当日欠席の2名も含めた入隊予定者を激励しました。

松本さんは海上自衛隊の自衛官候補生として舞鶴教育隊へ、沢田弘夢さん(河原屋)は海上自衛隊一般曹候補生として舞鶴教育隊へ、福田仁亮さん(丹治)は陸上自衛隊自衛官候補生として大久保駐屯地に入隊する予定です。吉野町出身の3名の方の活躍が期待されます。



後列左から、稲田五條地域事務所所長、中尾募集相談員、野木吉野防衛協会会長、和田副町長、奥出総務参事、前列左から北岡町長、松本さん、依岡奈良地方協力本部副本部長